

一般質問補助資料

2020. 6. 25

かとう けいこ

市のホームページから「ひきこもり」と検索すると…… 流山市ホームページより抜粋

ひきこもりとは、様々な要因の結果として、社会参加（就学や就労、家庭外での交遊など）を回避し長期間にわたって家庭にとどまり続けている状態を指します。ひきこもりに関連した**さまざまな相談機関がありますので**、まずはご相談ください。

千葉県ひきこもり地域支援センター

千葉県の機関

ひきこもりご本人、ご家族等から電話相談に応じるとともに内容によって医療・教育・労働・福祉などの適切な関係機関を紹介します。

千葉県の機関

中核地域生活支援センターほっとねっと

子どもや障害者、高齢者といった枠を取り払い、多様な相談に対して24時間365日体制で総合相談を行っています。

市の委託期間

流山市暮らしサポートセンター ユーネット

生活困窮者自立支援法に基づく委託事業者です。さまざまな理由で生活（暮らし）に困っている方を対象として、どうしたらいいかを一緒に考え、一人ひとりの支援計画を作成し、解決に向けてサポートしています。電話相談や来所相談、場合により訪問による相談もお受けしています。

流山市が障害者相談支援事業を委託している事業所で、市内3カ所で相談窓口を設置しています。精神的な病気やさまざまな障害によりひきこもり状態となっている方を対象に電話相談や来所相談、訪問による相談をお受けしています。

それぞれの事業所における、委託費や体制、相談件数や内容は？

中部にはないの？

- 北部地域：西深井地域生活支援センターすみれ

電話番号 04-7154-6202

- 東部地域：相談支援センターまほろば

電話番号 04-7196-7803

- 南部地域：相談支援事業所PHARE（ファーレ）

電話番号：04-7136-2933

ひきこもり支援に携わる人材の養成研修・ひきこもりサポート事業 平成25年度～ (30年度より拡充)

資料3

厚生労働省ホーム
ページから

市町村

ひきこもりサポート事業

- 利用可能なひきこもりの相談窓口、支援機関の情報発信
- 関係機関とのネットワーク、居場所づくり
- ひきこもりサポーター派遣

地域



ひきこもりの状態にあ
る本人、家族

情報発信
訪問支援



相談

研修修了者名簿の提供



都道府県・市町村

ひきこもり支援に携わる人材の養成研修事業



【目的】

ひきこもり支援が適切に行える人材を養成することにより、ひきこもり支援の質の向上を図る。

ひきこもり支援従事者養成研修

【研修対象者】

ひきこもり支援を担当する市町村職員
ひきこもり支援関係機関の従事者 など

【研修内容】

ひきこもり支援に必要な知識・技術等

ひきこもりサポーター養成研修

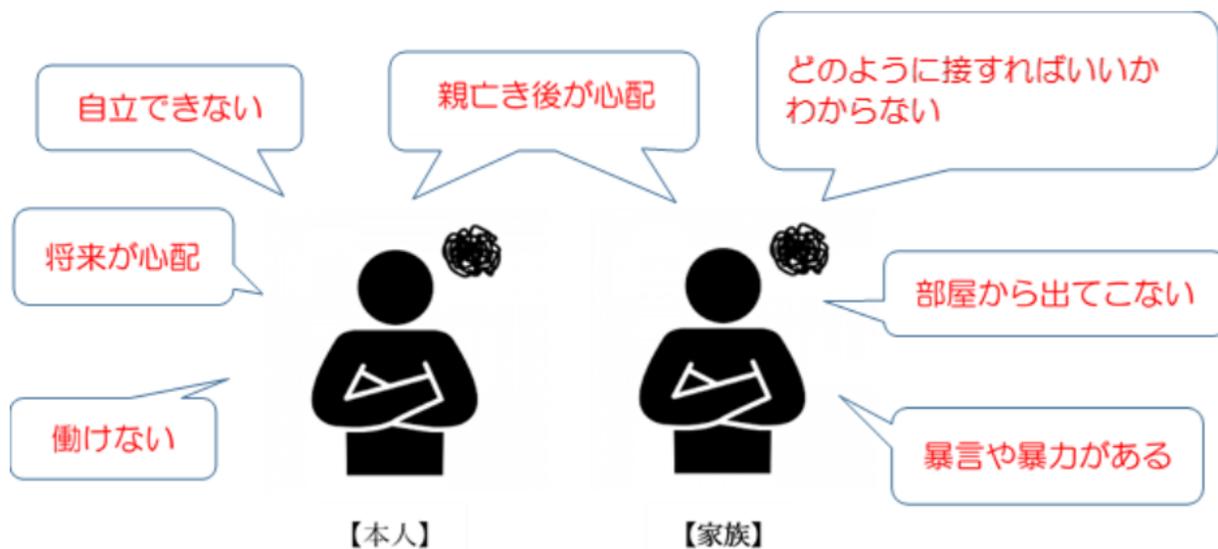
【研修対象者】

ひきこもり本人や家族等に対する支援に関心のある者
※ 資格等の要件はない

【研修内容】

ひきこもりに関する基本的な知識に関すること
(ひきこもりの概要(状態像等)、支援方法、支援を行う上での
留意点等)

ひきこもりでお困りの方へ



(注) 年齢に関わらずご相談ください。

日本語

いている場合、発達障害や精神疾患がかかっている場合があります。

ご本人、ご家族だけで抱え込まず、相談してみてもいいでしょうか。

保健師・精神保健福祉士・医師などの専門職がご家族の悩みを一緒に考えていきます。

こころの健康

こころの健康とは

こころの体温計

こころの健康相談

心の健康ガイドブック

酒害・アルコール相談

育児ストレス相談

高次脳機能障害者支援事業

ひきこもりでお困りの方へ

制度の紹介

資料4 江戸川区ホームページより

表

令和2年度

どこが相談できる場所は少ないかな…

どうしたら良いのが分からないかな…

誰かに聞いてもらいたいかな…

ひきこもりの悩みを抱えるご家族の方へ

ご自身やご家族のひきこもりについて、悩みを抱えていませんか。ひきこもりは誰にでも起こりうることで、特別なことではありません。ひきこもりは「相談して良い悩み」です。ひきこもりに関する様々な悩みについて、ご家族で抱え込まず、まずは身近な窓口にご相談ください。

市内には、ひきこもり等に悩む方やそのご家族を支援するさまざまな相談窓口や支援機関があります。

ひきこもりサポートネット 詳しくは P2-3	東京都 福祉サービス課 詳しくは P4	精神保健福祉 詳しくは P5-6
就労支援 詳しくは P5	就学支援 詳しくは P5	

東京都ひきこもりサポートネット

東京都ひきこもりサポートネットでは、電話・メール・訪問により、ひきこもりについての相談をお受けしています。このほか、年12回の家族セミナー、年36回の個別相談会を行っています。

日時、場所、予約方法などについては、ホームページをご覧ください。
<https://www.hikikomori-tokyo.jp/>

裏

東京都のひきこもり相談窓口

ひきこもりサポートネット

「東京都ひきこもりサポートネット」では電話相談、メール相談、ご家族を訪問し相談に応じる事業を行っており、ひきこもりのご本人やご家族、ご友人からの相談を受け付けています。

- 相談は無料です。ただし、ご利用に伴う通信費などは相談者の負担となります。
- 相談の受付は厳守いたします。
- 電話・メール相談は匿名で行うことができます。詳しくは、相談する場合は、相談上の名称(ニックネーム)等を伺うことがあります。

パソコンメール相談 [24時間受付] https://www.hikikomori-tokyo.jp/	携帯メール相談 [24時間受付] http://www.hikikomori-tokyo.jp/m/
--	--

※パソコンメール、携帯メールでの相談の場合、相談への返信には、10日程度かかる場合があります。

電話相談 0120-529-528 受付時間：月～金曜日 午前10時～午後5時 (年末年始[12月29日～1月3日]・祝日も除く)	<ul style="list-style-type: none"> ひきこもりから取り出す一歩をどのようにして踏み出したらよいですか？ 本人にどうしたらよいですか？ どのようにしたら必要なサポートを受けられますか？ <p>【下記の相談は無料です。】 相手の名前や連絡方法の受けなど、業務内容にあたるご相談費等の対応がございません。</p>
--	---

訪問相談

ひきこもりの問題を抱えているご家族を訪問し、相談に応じます。

相談内容	お住まいの区市町村の窓口(33の区市町村窓口一斉を参照)
受付時間	各窓口の受付時間に準じます。
対象	ひきこもりの状態にあるご本人が都内在住 2か月以上ひきこもりの状態にある 労働者教育終了後の15歳以上

訪問相談について

- ※申込み方法は、お住まいの区市町村の窓口へ、お電話や来館等々の基本的な受付窓口が異なります。
- ※申込みされた後の情報が提供されます。
- ※家庭訪問に事前に相手の打ち合わせを行うこともあります。

※訪問相談は1人あたり5回までです。相談の内容に応じて、必要に応じて追加の相談もご提供いたします。
(ご紹介する関係機関については、有料の場合もあります。)
※相談内容によっては、訪問をお断りする場合があります。

このほか、年12回の家族セミナーと年36回の個別相談会を行っています。

詳細は、ホームページをご覧ください。 **東京都ひきこもりサポートネット**

※ご利用にあたっては、事前に各市区・機関までお電話にてご連絡ください。

資料5

東京都のホームページより

パソコン、携帯、電話、訪問と様々な相談方法が明示

場所の地図

資料6



身近な場所にチラシを配布して周知させる